

平成22年度育英奨学事業特別会計当初予算説明資料

1 款 育英奨学資金貸付事業費

1 項 育英奨学資金貸付事業費

人権教育課（内線：7516）

1 目 育英奨学資金貸付事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	繰入金	
育英奨学事業費	943,468	852,571	90,897			(交付金) 148,341 (諸収入) 257,098	538,029	
トータルコスト	953,150千円（前年度 862,513千円）[正職員:1.2人、非常勤職員:0.7人]							
主な業務内容	鳥取県育英奨学資金(高校・大学)の貸付、返還							
工程表の政策目標(指標)	修学資金の支援							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内に住所を有する者の子等で、高等学校等・大学等に在学する者のうち、経済的理由により修学が困難である者に対して、育英奨学資金を貸与することにより、有用な人材を育成する。

2 主な事業内容

区 分	金 額	内 容
高等学校等奨学資金	614,400	貸与月額…(自 宅) 国公立18,000円、私立30,000円 (自宅外) 国公立23,000円、私立35,000円 新規採用枠…940人[採用枠205人拡大(H21～)] 貸与条件…成績基準なし、所得基準 返還方法…貸与終了後15年以内、無利子
大学等奨学資金	319,032	貸与月額…国公立 45,000円、私立 54,000円 新規採用枠…240人[採用枠120人拡大] 貸与条件…成績基準(学業成績3.5以上)、所得基準 返還方法…貸与終了後20年以内、無利子
国庫補助金返還金	10,036	平成14年度から平成16年度までの高等学校奨学資金の財源として国庫補助金が充当されており、奨学生からの返還金の2分の1を国へ返還するもの。

3 これまでの取組状況、改善点

増加する奨学資金の貸与希望に対応し、平成21年度は次のとおり貸与を行った。

- ・高等学校等奨学資金新規貸与者 778人
- ・大学等奨学資金新規貸与者 120人

【改善点】

雇用状況が急激に悪化していること及び奨学金の早期決定を希望する声が多いことを考慮し、大学等奨学金について次の改善を行い、経済面の不安から進学を断念することのないよう、安心して学び、進学できる環境を整える。

- ・新規採用枠を120人追加し、240人とする。(平成21年度新規採用枠 120人)
- ・予約募集(高校2年生)と大学入学後募集に分けて募集を行っていたが、すべての採用枠を予約募集(高校3年生対象)とする。